



海星だより

令和3年度 2号
広島県立大崎海星高等学校 <http://www.osakikaisei-h.hiroshima-c.ed.jp>

大崎上島学

1年生…羅針盤学

1年生は「マシュマロタワー」にチャレンジしました。パスタと紐、テープを使って一番高いタワーを作れたチームが優勝です。

それぞれのチームで綿密に作戦会議を行い、Chromebookや紙に設計図を書きチャレンジしました。最高記録はなんと67cm。先生チームも参戦しましたが、こちらは45cmでした…。

このワークをきっかけに、「クラスの中でもあまり話さない人と話せました。」「たくさん話してみて、印象が大きく変わった。」と振り返る生徒が多くいました。

2年生…潮目学

2年生は、地域課題の探究を行っています。今回は「海と島の歴史資料館・大望月邸」と「西光寺」でインタビューを行いました。



班で相談をしながら進めます



住職の児玉さんにお寺の歴史などをお話いただきました

西光寺グループ

西光寺グループは実際にお寺を訪問し、児玉さんのお話を聞きました。寺の歴史や役割、地域との関わりについて色々聞くことができました。

お寺では地域の方との交流を大切にされていて、みんなが「お寺離れ」していくことが心配だそうです。今回聞いたことから、どういうプロジェクトをしたいかグループでしっかり考えていきたいです。

西光寺について

西光寺は浄土宗のお寺で、約400年前に建立されました。一時は荒れて廃寺のようになったこともありました。竹原の西方寺という寺を開いた方普元勝上人によって再興され、現在は児玉昌信さんが20代目住職を務められています。

大望月邸グループ



大望月邸グループは「海と島の歴史資料館・大望月邸」を指定管理者として受託されている、岡本さんと長谷川さんをお招きして話を聞きました。

岡本さんからは、運営内容や運営面からの将来のビジョン等を、長谷川さんからは、大望月邸の歴史、歴史的観点から将来のビジョン等を情熱深く伝えてくださいました。

来てくださったお二人の想いに応えられるように頑張ります。

「海と島の歴史資料館・大望月邸」について

「海と島の歴史資料館・大望月邸」は、大崎上島の歴史を現代に伝える資料館です。もとは、昭和初期の内務大臣 望月圭介の生家です。廻船問屋だった豪商の家で、船大工が建てたと言われており、むくり屋根と呼ばれる屋根の形など、築の随所に目をみはる造りがみられます。

3年生…航界学

3年生は、プロジェクトごとのグループに分かれて作業をしています。今回は、正面玄関の展示スペースにある自動車の実働可能を目指しているグループをご紹介します。

総合学科(機械系列コース)が設置されていた時代に作成されたこれらの展示物を、もう一度動かせるようにしたいという思いでこのプロジェクトは始まりました。すべて自分たちで修理するのではなく、島内の方々にも協力をお願いしながら進めていく予定です。



修理と一緒に展示スペースの改善も実施

先輩たちの残してくれたものが、また動き出すところを見られるのが楽しみです。

新入生歓迎球技大会

4/23に新入生の歓迎を目的とした、学年対抗ビーチボールバレー大会を開催しました。

入学して1ヶ月がたち、1年生も高校生活に段々と慣れてきました。今回の球技大会では、1年生同士だけでなく、他学年とスポーツを通して競い合う事でお互いの結束力もより一層強くなりました。

そして、優勝は男女とも安定のチームワークを見せた3年生チームでした。

